DIARIO No. 2527 S. Paulo 13 de JULHO de 1941 NOTIC[illegible] Redacção e Administração Rua Fagu[illegible] Caixa, II

Snr. H. Koda 光田秀也 殿

伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
購讀料（一ヶ年 六十銑 半ヶ年 三十銑）

珈琲	サントス四等 十キロ	三五、〇〇〇
	リオ七號	二四、五〇〇
爲替	對日 圓	六〇〇
	郵便爲金	五、五七〇
	對米	一九、六九〇
	對英	七九、七二〇

——獨・ソ興廢大決戰近し——

獨、食糧彈藥の補給急ぎ
八百萬ソ軍戰線へ集結
革命當時の三猛將配し ソ聯首腦必勝の策練る

【東京十二日發】並數日來獨ソ戰線は目星しい進展を示さず膠着狀態に入つたが、これは、獨側がソ聯側防備線の弱點を早探めんとしてゐるためと食糧、彈藥補給の爲めで、一方アンカラ電に依ると

ソ聯軍八百萬が戰線へ集結中

と謂れ、又十日、十一日の獨ソ軍の活躍は俄然猛烈となり一大決戰の前哨戰が展開されてゐる、尚は各方面からの情報を綜合すると

戰機正に熟し兩軍の一大機動戰が近く展開される模樣でこれが今次戰の勝敗の鍵となるだけに大戰開始以來の大激戰となるう

ソ聯は戰時態勢漸く整ひ、[illegible]を酬し、すでに現地で指揮に當つて[illegible] 司令官にウォロシロフ、西部司令官にチモシエンコ、西南部司令官にスデニー 革命の勇將を前線に派した事は民衆の熱狂的賞辭を浴びてゐる [illegible]スターリンがこれ等ロ[illegible]

（右上はチモシエンコ將軍）

米軍艦 獨潜艦に爆雷發射
ノックス長官言明
大西洋上で

【東京十二日發】ノックス米海軍長官は十日の海軍秘密委員會で問題になつた米海軍が大西洋上で獨逸と爵戰を交へたとの報道について十一日次の如く言明した

米海軍は哨戒行動中大西洋某地點に於て接近し來つた獨潜水艦に對し、自衛上爆雷を發射した

尚海戰の模樣については一切言明を避けてゐる

獨軍が某地を占領後パルチザンが獨逸兵を惨殺したのを發見逮捕珠子繋ぎにした處

米接收の獨伊船に 英、交戰權發動を放棄

【ワシントン十一日同盟】駐米英大使館當局は十一日、米國の接收せる獨伊船舶に就き次の如き聲明を行つた

英國は米國の接收せる獨伊船舶に就き交戰權の發動を放棄する、英國政府は接收樞軸船舶が使用さるべき目的に鑑み、右船舶の運用準備に就き滿幅の賛意を表明するものである

因に英國は從來交戰國の船舶が假令他國の手に移らうとも海洋に於てこれを拿捕擊沈する權利を有する旨主張し來つたが、ウェルズ國務次官及びハリファックス駐米英大使の累次に亘る會見の結果、今回右權利の放棄を聲明するに至つたものである

重慶 ルーマニヤと外交斷絕

【香港十一日同盟】重慶來電に依れば、重慶政權はルーマニアが南京政府を承認したのを理由として、同國と外交關係を斷絕した旨、十日發表した

アイスランド兩地へ海軍基地建設は事實
だが英に雇はれてやつたのだ
ハル長官 記者團に苦しい辯明

【東京十二日發】米が北アイルランド及びスコツトランドに海軍基地を建設してる事が十日の上院でタフト共和黨議員の爲に暴露されたが、これに對し、ハル長官は十一日、新聞記者團との會見席上

北アイルランド及びスコツトランドに海軍基地を建設してゐる事は事實である、又米人の勞力と米國の資材で行はれてる事も事實である、然しこれは英國に雇はれて合法的に傭給を貰つてやつてるだけで、米國の爲と云ふよりも寧ろ英國の爲にやつてる事であると苦しい辯明をしてゐるが、

樞軸國と取引ある 米洲商社に大脅威
米國商社が貿易無資格の烙印
ブラックリスト作成

【ニューヨーク十二日同盟】十二日のニューヨーク・タイムス紙ワシントン電は米洲諸國貿易關係當局が米商務省並に民間貿易業者の支援の下にブラックリスト制に依つて、米洲から樞軸國證券の謀略工作をなしてた旨、十一日發表したと報じてる、右發表に依ると米洲諸國の商社で樞軸國と取引關係を持つものとしてブラックリストに擧げられた者は現在二千の多きに上り、この內約半分の商社は既に米國商社との取引關係を拒否されてる、註—ブラックリスト制は經濟封鎖を完遂する爲の一手段であつて敵性國家との取引を行ひ、又は戰時禁制品の取扱ひをなしたか、若しくはその嫌疑ある商社、銀行、船舶などを掲載したリストを作成、既に前大戰で英國はこの制度を實施したが、今次大戰でも對敵通商取締り法の補足事項としてブラックリストを追加規定これに掲載されたものは「對英貿易無資格」の烙印が押された譯である—去る五月二十日ロスアンゼルス駐在の英國領事が、突如邦船十二隻をブラツクリストに載せる旨發表して注目を惹いたが、これに依つて今後此等の本邦船に英國人が荷物を積載した場合には該荷物は拿捕され、關係者は檢擧告發される事となつてゐる、今回米洲の採つたブラツクリストは英國のものとは異り、法的なものでは無く、リストに擧げられた商社との取引停止は飽迄民間者の自發的意志に依るものだが、その範圍は寧ろ英國の場合より廣範であると謂れる

米、浦鹽航路を再開?
對ソ援助物資輸送暗示

【東京十二日發】ワシントンからの報に依ると、米國は、これまで廢止して居つたウラジオ航路を近く再開する旨發表、大センセーションを起してゐる

これはソ聯援助の爲、ウラジオ向け物資を米國船で輸送する事を暗示したもので注目されてゐる

在重慶 獨、伊使館員引揚

【東京十二日發】重慶政府と獨伊兩國との外交關係斷絕に伴ひ、獨逸は來る十七日、伊太利は廿五日夫々大使館員が重慶を引揚る事になつた

時の話題
日本對米ソの關係

獨ソ大決戰近しの報ある折柄、米の對獨態度極めて硬化し、アイスランドへは軍隊進駐、獨潜水艦へ爆雷發射、北アイスランド、スコツトランドに海軍基地建設等々既に戰鬪開始の肚を決めたもの如く、紐育市では附近海上へ機雷を敷設した上、大防空演習を行つた、香港でも機雷を敷設したと謂れてる、斯の如き情勢下に於て、日本の態度と動向如何が吾人最大關心の的となつた

日本の對外根本國策は先日の御前會議で決定、不言實行の建前となつたから、この際豫測や豫斷は許されないが、外電の報道を綜合すれば、次の如きものである

前述の如く米國は愈よ獨逸と戰ふため太平洋に待機して居る若干艦隊を大西洋へ廻航したので太平洋上に於ては日本との摩擦を極力避けんとしてゐるから、日本はそれだけ優勢な地位に立つた譯だ

米國のシベリヤに空軍基地建設說は獨逸側の宣傳だとウエルズ次官は否定してゐる、對ソ援助物資の浦鹽經由問題も米側では努めて遠慮の態度をとつてゐる

日本の南進政策は不退轉のものであり、何時武力行動が開始されるか判らない

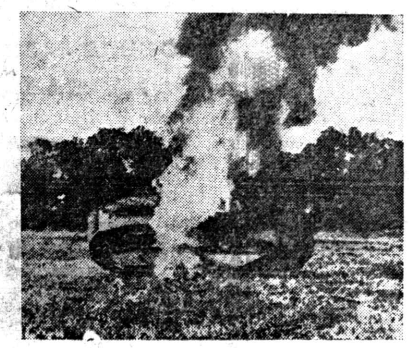
モスクワから三回に亘つて邦人婦女子の引揚があり中に建川大使夫人も混つてゐたので、日ソ關係險惡說も流布されたが、右は日本から遙かに遠いモスクワが何時戰禍に巻込まれるか判らない不安から執られた處置で、萬一の場合足手纏ひとなる婦女子のみを歸國せしめただけである

現在の處日米關係は小康、日ソ間に異狀認めずと云ふ狀況である

昨日のステフアニー通信は日本全軍に對し總動員令が下つたと報道してるが、內容詳細不明である

モスクワ レニングラード間
鐵道幹線を獨機猛爆
線路列車を粉碎

【伯林十一日發】（TO電）獨逸空軍の發表によれば、昨日獨逸重爆擊機の大編隊はモスクワ市とレニングラード市間を連絡せる鐵道幹線の破壞作業を行ひ、右鐵道線路の數箇所を徹底から破壞したのでソ聯軍の大輸送列車は止むなく途中にて停車した處、獨空軍は是等列車集團向け大爆擊を敢行大損害を與へた



獨ソ戰で獨軍の火砲に射拔かれて炎上するソ聯戰車

濠洲軍 ベールト入城

【倫敦十一日發】（R電）トランスヨルダニヤよりのラジオ通信によれば、シリヤ國ベールト市にあるヴイシー佛政府軍總司令官ダンツ將軍は、未だ英政府よりの休戰條約に對する最後通牒に對し、未だ回答を發せざる爲、昨日同地を包圍中のオーストラリヤ軍はベールト市に入城した

◇◇◇

紐育が大防空演習
―初の燈火管制實施―

【紐育十一日發】（R電）昨夜當市は防空演習を行ひ初の燈火管制を實施、眞晝の如き大紐育市の夜も昨夜は暗黑の都と化した、尚入港の船舶に對しても戰時に備へる種々の訓練を行つたので、當港に入る多數の船舶は殆ど運航停止の狀態で大混雜を極めた

米、獨伊船十八隻沒收
累計九十九隻（九十九万噸）

【東京十二日發】十二日ワシントンからの讀賣特電に依ると米當局は十一日各港に繋船中の伊太利船十七隻、獨逸船一隻をサボタージュを行つたとの理由で沒收、右船舶は防牒法違反であるから賠償の必要は無いと發表した、これで米國が徵用した船舶は九十九隻、九十九万五千百四十六噸に上り、その內海軍に徵用されたもの八十八隻、陸軍に徵用されたもの十一隻で、これ等船舶は何れも運送船、修理船その他補助艦艇として使用されてる

紐育港に機雷敷設作業開始

【華府十一日發】（R電）北米海軍當局の發表によれば、本日より紐育港の入口へ機雷敷設の作業が開始され、同港灣の防備強化に着手したと

米がシベリヤ要地獲得?
ハル長官打消す

【華府十一日同盟】ハル國務長官は十日、米國が軍事基地として、ソ聯シベリヤの要地を獲得すべく交涉中であるとの噂は事實無根であると否定した

英、ビルマ マレーに空軍基地建設
七萬五千の守備兵待機

【東京十二日發】バンコックからの報道として傳へられる所に依れば英國はビルマ、マレー及び海峽植民地一帶に五十乃至七十の飛行場並に空軍基地を建設、ビルマに百乃至二百台、マレーに五百台の飛行機を配備し、七万乃至七万五千の守備兵を以つて防備を固めてゐる

又那報に依ると泰國政府が二十万バーツを支拂つて米國に註文した爆擊機二十台を泰國に渡さずにビルマで取上げ、英側に引渡したと謂れる

◇◇◇

日本官憲
新嘉坡行英船拿捕
武器、機械類積載を發見

【上海十一日發】（TO電）今日當地の日本官憲は當港より香港、新嘉坡經由ラングーンに向はんとする英汽船クワンツン號を拘留した、理由とする處は同船が新嘉坡行きの機械類及び武器を積込んでゐるのを發見した爲であると

モスクワ引揚 邦人滿洲里着

【滿洲里十一日同盟】今井一等書記官等第二次モスクワ引揚げ邦人十六名は、十一日午後八時半滿洲里に到着した

病床から起き出し
松岡外相、ソ大使訪問
一時間半會談遂ぐ

【東京十二日發】（AP電）數日間病床にあつた松岡外相は本日急に起き上つてスメタニン・ソ聯大使を訪問、一時間半の長き會談を行つた

余録

◇尼港事件で吾人の腦裡に未だ殘つてゐるパルチザンが、スターリン線內の一都市カウナスのカトリツク教會を襲ひ教徒千百人を虐殺してあつたのが、占領後の獨軍により發見されたと

二人草三郎
小堀 雄 作　繪 小川 倚葭

（百五十七）

山の一つ家（二）

暗夜の灯。ましてや行き暮れたこの山の中でのそれだつた。咄嗟に草三郎の足がその方へスタ／＼と、大股に闇を蹴つてゐたのは云ふまでもない。やがて、吸ひ寄せられるやうに駆寄つてその前に立つたのは、こんな山の中に在りとも覺えぬ可成に大きな構への破ら屋――そこから灯が漏れてゐる。

圍爐裡には粗朶も赤々と燃え熾つてゐるであらう。

悦しさ懐しさに草三郎が門の戸へ立寄つて、――ホトホトと訪れようと上げた拳を、宙に止めてハッとした。

中から濁み聲が、草三郎の耳を打つたのだ。

「かう青ン道、手前アこんな人里離れた山ン中で、大方ア好いた同士とでも云やがるのだらうこんな眼の醒めるやうな別嬪と二人暮らしなんぞはヘッヘッ、覺葬の底を知らねえ野郎だが、その上からして酒までふんだんに置くなざア何んたら果報な野郎だ、はッはッはッ、野郎共、この青ン道の仕合せ者にあやかるやうに、遠慮なく飲むがいゝぞ」

「お頭、久し振りのうめえ酒に、その上、へへへ、こんな別嬪を眼の前に拜んぢやア、お許しがなくとも飲まずにやゐられません、へえ」

「ふウむ、だが積バ、手前そんな獸な眼をしてこの女郎を見やがるなえ、手前その助平つたらしい眼の色に脅えてよ折角の別嬪が氣でも失つたひにや、それこそ後の御用に立たねえや。わッはッはッ、なア青ン道！」

續いて、ドッと湧れるやうな大勢の笑ひ聲だ。

ぎよッとして草三郎、迂闊に立寄られねらしい中の氣配に、そつと一足退つて、先づ四邊の樣子を見廻した。

（はゝあ、なる程、こゝは話に聞いた二つ嶽の溫泉場の跡か……）

さう云へば先刻まで右手に見えてゐた二つ嶽が、直ぐ眼の前の闇空に、のつそりと押つ被さるやうに聳え立つてゐる。

一昔前までは、この邊一面に湯が沸いて、地面に竹で穴をあけると湯氣が立つ。そこへ茣蓙を敷いて腰を溫める――それが、腰の痛みや痔に効くといふので、一時ちらほら人が出て、宿も一軒立つたのであつたが、近年その湯がばつたり出なくなつて終つてからは全く衰微、人も里へ下りて平素は住手もない所だと聞いてゐた。

（だとすると――へえゝ、可怪なこともあるものだな…）

不審かし氣に腕を組んで立つ草三郎の耳へ、中からの濁み聲は、間拔けに聞えて來る

「お頭、上州一圓の不景氣風に追はれて、山ア越えて信州へ國越えをしようとする途中此處へこんな好い鴨が巢を構へてゐて、こちとら樣のお通りを待つてゐて吳れようとはハッハッハッ、夢にも思ひがけてゐねえ事でござんしたね」

「うわッはッはッ、さうよ、竹の柱に萱の屋根と、唄の文句にあるが、それよりもつと酷えこんな山ん中へ、辨天樣の生れ代りのやうな別嬪がかうして俺達のお通りを待つてゐたなんぞは今度の國越えは滅法幸先がよかり相だ」

「山を越て信州にや、定めしいゝ正月が待つてゐるでござんせうよとの分ぢやア、ねえお頭」

「違えねえ。途中からこんないゝ芽とぶつかるやうぢやアなあ。さア、野郎共、その前祝ひの氣でどん／＼飲むがいゝぞ、酒はまだある、夜は長え、わッはッはッは」

右手に劍、左手に宣撫
清鄉工作着々進捗
建設工作も多大の成果
皇軍支援下

【上海十一日同盟】國民政府が去る一日を期し皇軍援助の下に實施した清鄉工作は江蘇省、常熟、太倉、崑山方面に展開されたが國府側は鋭意に抗日匪團を剿滅、工作地域内には既に各種の建設工作も多大の効果を擧げてゐる

第十旅、獨立三旅團及び協同團等の和平軍と協力して抗日自衛其他の美名に隱れて治安を攪亂する敵匪團の肅清を開始、早くも各地區の要衝を確保し、所定の位置に布陣を終つた、敵は我作戰を恐れ逸早くも逃走を始めたものの如く工作地區内には既に敵影なく工作地區内外の隔絶作戰は完成されつゝあり、軍事行動進展と共に之に隨伴した宣傳特務建設の諸工作も着々進行してゐる

【上海十一日同盟】皇軍協力支援の下に國民政府が一日を期して實施した清鄉工作は活動開始以來各般に亘つて非常な効果を收めつゝある、今次清鄉工作實施區域は滬寧線、崑山及び蘇州を結ぶ以北、揚子江南岸に至る江蘇省蘇州常熟、太倉、三縣である、この地區に新行動を開始した我部隊は、國民政府第一方面軍、第二、第三師團、第十三

「馬よさぞかし暑からう」日の丸の扇子であふぐ、愛馬をいたはる皇軍勇士の慈愛の姿である

三和銀行決算重役會
【大阪發十二日同盟】三和銀行では、十二日の決算重役會で上期利益金處分案（年八分据置き）を査定した

常務機關に南方經濟懇談會樹立
十日東京商工會議所で決定

【東京十二日同盟】日本商工會議所では、十日東京商工會議所に南方關係團體を招き貿易の振興に積極的に努力するため常務機關として近く「南方經濟懇談會」を樹立する事となつた

猛烈愈々加ふ 重慶大連爆行
【○○基地十二日同盟】艦隊報道部發表

中支艦隊今週の戰果次の通り、事變滿四周年紀念日を迎へた印州東方面の各前線に活躍する我荒鷲隊は四日より八日迄の五日間に連續六次に亘り重慶攻擊を決行更に十日大擧して急襲し早朝と云はず夜間と云はず重慶官民に休む暇を與へず軍政機關、兵工廠、兵器庫、火藥庫、軍需品倉庫、高角砲陣地、[illegible]電氣設備等を徹底的に爆擊、粉碎した、殊に歸近水飛を傳へられる重慶は攻擊毎に火炎猛烈を極め、時には十時間余も燃えつゞけ尚火勢の衰へぬ有樣である、江上飛行隊は浙贛線の要衝餘姚を初め敵第三戰區の重要據點桐城、景德、鄱陽、嶺陣地を爆擊し、敵司令部廳舍、軍事施設等を爆破炎上せしめて甚大な損害を與へた、江上部隊は、反抗を呼號する敵の機先を制し下流）及び長臨市（漢水上流）西方に於て敵遊擊隊を猛攻、構築中の陣地を粉碎し、これを完全に完封した

石炭統制會
設立準備委員會組織
【東京十二日同盟】商工省では十一日、民間關係石炭團體代表の參集を求め、石炭統制會設立に關する打合せ會を開き、政府側より左の如き石炭統制會設立要項を提示、懇談を重ねた結果、石炭關係業者を以て統制會設立準備委員會を組織することに決定した

石炭統制會設立要項

一、目的「經濟新體制確立要項」の趣旨に基き、石炭產業の綜合的開發統制を計る

一、炭田及び石炭資材の確保及その配置に關する計畫の設定及び遂行勞務者の配置就業方法の指定、輸送法の確保及び右の綜合的合理化を計り、技術の昂揚、能率の增進を策し、鑛業公司及び日本石炭株式會社をもつて之を統制する

東亞海運が英系の艀問屋を買收
【天津十二日同盟】天津港の艀の大半を獨占してゐた英國系の駁舟公司の回收に關しては昨年以來、興亞院及び特務機關の斡旋に依り同公司と東亞海運との間に折衝を進めてゐたが、過般同公司所有の曳船、艀其他の諸施設を廿五万ポンドで（邦貨約四百五十万円）買收する事になり、最近調印を終つた、回收された同公司の所有財產は曳船九隻（三千三百噸）艀（タンカーを含む）卅四隻、其他三隻、合計一万四千噸、建物、ドック、倉庫等で、代金支拂ひと同時に全部東亞海運に引渡される筈である

超短波
安南人を死刑
佛印に皇軍進駐以來日本の實力を認識した安南人間に日本依存の空氣が濃化して來たが、これに反し佛印當局の英米依存は次第に露骨になり、傳へられる所に依ると佛印當局は親日安南人五百人を逮捕しその内百五十名を死刑にしたと傳へられる

英…重慶軍事同盟
反對派の趙自忠以下も大勢に引づられて英—重慶軍事同盟に賛成した模樣で、近く調印の運びとなつたが、その骨子とする所は

一、重慶軍の一部をビルマに移駐、英軍の指揮下に行動をする

二、その交換條件としてシンガポール又はビルマから援助物資を重慶に送る

故大角大將の埋骨式
故大角大將の埋骨式は十二日青山墓地で行はれた

炭の値段決る
炭の最高、最低値段が決定された

水稻植付段別
朝鮮總督府では七月十日現在の水稻植付狀況について十二日次の如く發表した

作付面積百六十三万千五百町步、即ち全體の十割を終つた事になる

東海道線不通
東京鐵道局の發表に依ると東海道線早川—根府川間土砂崩壞の爲不通となる、今の所開通の見込立たず、現場は連絡の方法なし、從つて東京驛發十二日午後七時四十分以後の急行列車は當分の間運行停止す

御移轉の際は必ず前住所を御知らせ下さい
時報發送部

求む
經驗有る寫眞師一人
月給三百ミル以上
委細面談
アラサツーバ市
カイシヤ百八十五番
元渡邊寫眞館跡
宮原寫眞館

教育者を求む
當地で働き乍ら子供の御世話を願ひ度し
希望者は面談或は左記へ御尋ね下され度し
ソロ線ア・マッシャード驛
十二キロ
宮崎恒吉
郵函七〇

Vende-se emporio chic
高級エンポリオ讓店あり住宅付
R. 13 de Maio, 775
御來店は何時でも結構です

Dr. Alves de Lima
R. Libero Badaró, 561
2a sobreloja Tel. 2-4595
大腸炎・赤痢・アミーバ・マレツタ・
午後二時より四時迄
自宅電話 七—五〇八九

營業種目
各種合金鑄物
諸機械製作並請負
設計及製圖
菅井製作所
自宅 聖市バロン・デ・イグアツペ街九三二
工場 聖市ドットール・トーマス・デ・リーマ五四四
電話 七—七二五五

Dr. Friedrich Müller
R. Barão de Itapetininga, 50 7° and.
Tel. 4-5740 Urgente Telef. 8-2593
耳鼻咽喉科
頭痛 鼻潰瘍 整形外科
30年の經驗あり 親切・丁寧・廉價
診察 平日午後2時30分＝6時
土曜午前9時＝午後3時

R. Monteiro & Cia
CASA MATRIZ E ESCRITORIO
Rua 25 de Março, 533
Caixa Postal, 1646 - Telefone, 2-4388 - São Paulo

Casas Filiais:
Rua José Bonifacio, 43
Esq. Bocayuva
Telefone, 2-5510
Rua 15 de Novembro, 12-18
Telefone, 2-1781
Av. Rangel Pestana, 1475
Telefone, 2-9837

◇弊店は伯國最大の反物店で内外優秀のカジミーラを豊富に仕入れて居ります
◇國產優秀カジミーラ「インペリアル」の總代理店です
◇地方より御出聖の折は是非御來店の程をお願ひします
◇御地方へは見本をお送り致します

Casa Filiais:
Rua Boa Vista, 199
Telefone, 2-3688
Santos
Rua Gen. Camara, 79
Telefone, 5657
Rio de Janeiro
Rua Uruguayana, 106
Telefone, 23-5067

Destocador "SANJI"
サンジ式 棉抜根器

梃子應用ですから力の經濟となり、其上取扱至極簡單輕便で御婦人子供衆でも樂に使へます
値段（一丁拾肝）
カーザ東山

家庭用風呂と釜
◇炭用風呂（板製）荷作り共 百三十肝
但薪用釜付 百五十肝
◇風呂 亞鉛板製（荷作り費共）百七十五肝
◇木炭用湯釜 四十五肝
時報商事部

QUANDO OS OLHOS acusam
A FADIGA DE UM LONGO DIA...
Bastam algumas gotas de Lavolho para lhes restituir alivio e bem-estar imediatos. Use, diàriamente, Lavolho.
LAVOLHO
DESCONGESTIONA OS OLHOS

印刷物の御用命は
時報印刷部へ

DESPERTE A BILIS DO SEU FIGADO
Sem Calomelanos—E Saltará da Cama Disposto Para Tudo
Seu figado deve derramar, diariamente, no estomago, um litro de bilis. Se a bilis não corre livremente, os alimentos não são digeridos e apodrecem. Os gazes incham o estomago. Sobrevem a prisão de ventre. Você sente-se abatido e como que envenenado. Tudo é amargo e a vida é um martyrio.
Uma simples evacuação não tocará a causa. Nada ha como as famosas Pillulas CARTERS para o Figado, para uma acção certa. Fazem correr livremente esse litro de bilis, e você sente-se disposto para tudo. Não causam damno; são suaves e contudo são maravilhosas para fazer a bilis correr livremente. Peça as Pillulas CARTERS para o Figado. Não acceite imitações. Preço 3$000

AVICULTURA NACIONAL
EROS & LADEIRA LTDA.
Rua da Liberdade, 510 - Fone. 3-7715 - São Paulo
アビクルツーラ ナショナル
オーボ・デ・グランジア
養鶏家皆樣當地卵の市場販賣は信用第一を旨とし其日の相場により明確に精算する弊店を是非御利用下さい。
家禽飼料
先づ弊店特製の飼料を御試用あれ。キット滿足されます。
養鶏材料
孵卵器、雛飼育器、各種其他一般養鶏材料を販賣致して居ります。

NOBIS
ブラジルで最優良のカジミーラはマルカ「ノービス」です
染色絶對保證、優美な新柄模樣、値段廉價
御出聖の際は是非當店に御立寄下さい
製造販賣元ラニフイシイオ サンタ・ローザ
聖市ベンヂャミン・コンスタンテ街四八番 電話三—六三四一
R. Benjamim Constant, 48
Fone. 3-6341 - São Paulo

CASA BANCÁRIA IMIGRATÓRIA LTDA.
海興銀行
MATRIZ
SÃO PAULO
FILIAES
REGISTRO. PEDRO DE TOLEDO. LINS
LONDRINA. ARAÇATUBA. MARILIA

—痛みを訴へる事最早無し！
インスタンチーナを
服用すれば 苦痛は直ちに解消す

BAYER
Instantina
corta os resfriados
e alivia as dores.

PROCURE.. MOVEIS DESTA
MARCA SÃO BONS
CASA TOKIO
南米最大のイヅマルタード
家具工場
金銀賞牌數回受領
大工及びピントール
數名（家具向）募集す
（ベースボールの心得ある方を特に歡迎す）
家具材木商
カーザ東京本店
Rua Sta. Efigenia, No. 29
Caixa, No. 1005 - S. Paulo

Empresa Constructora Universal Limitada

パラ州執政官
ウニヴエルサル建築會社を訪問

去る四日午後四時パラ州執政官ドクトル・ジョゼ・マシエル閣下、令夫人、令嬢及び教育長官、秘書官その令夫人方、リオ治安裁判所檢事ドクトル・マクドヴエル氏その他を從へウニヴエルサル建築會社重役及び社員一同の出迎へを受け親しく訪問す、マシエル閣下及び一行が同社貴賓室に入るに及び重役ドクトル・ドミンゴス・ロリツト氏は歡迎の辭を述べ記念品贈呈に對しマシエル閣下は同社の厚遇且又サンパウロを訪問して到る處で熱誠ある歡待を受ける事はブラジル人として誠に光榮であり、感謝に堪えず、此の好印象は家族の者と共に不滅の思出でとしてパラ州への御土產とする。と結ぶや、當市カストロ・アルベス商會主サルモン・ジョゼ氏の祝辭に次ぎ閣下と同主義の政友であり又領首として二拾年苦樂を共にし、その人となりを知悉すると言ふ一行中のブラジル學會のオズワルド・オリコ氏はサンパウロで受けた歡待に對し、パラ州政府を代表して感謝の意を表し、最後に、重役ドクトル・アルフレッド・アロエ氏はウニヴエルサル建築會社を代表して簡單に挨拶を述べて執政官令夫人及び令孃に花束を贈る、續いてマシエル閣下は社内各事務室を來觀、行き届いた其の設備を賞讃して社員一同に見送られてホテル・エスプラナーダに向ふ。

因に翌五日晩はトリアノンにてウニヴエルサル建築會社はマシエル閣下及びその一行を主賓にサンパウロ州政府側各長官その他高官、新聞記者等多數を招待して晩餐會を開きパラ州執政官歡迎の意義を深くす。

ブラジル沖で死の漂流九晝夜
撃沈された英船に 邦人三名！
救はれて語る恐怖の漂流談
獨艦の猛威

英貨物船エナ・デ・ラーリンナガ號（五、二〇〇噸）は去る四月五日ブラジルを去る百浬の海上で獨潜水艦に撃沈され乘員は死の海に漂流九晝夜、運よく伯國汽船に救はれ同月廿八日紐育に到着したが、この乘員の中にはからずも日本人三名が混つてゐた、川端正男（鹿兒島）永井常太郎（福岡）眞崎俊平（廣島）の三君であるが、恐怖の漂流談を左の如く語つた

てうど赤道にかゝつた所で魚雷にやられひどい震動で甲板に上ると水がどん〳〵入つてゐる、夜中で眞暗で獨艦は見えず魚雷は小さかつた、この時五人やられ乘員卅八名はボート二隻に分乘、赤道直下なので水の事が氣にかゝりウイスキー瓶廿六本に水を入れ食糧はビスケット、ミルク罐を持つて漕ぎ出した、毎日暑い日が續き渇きが一番こたへた、鱶の多い所でいつも數尾が群がり時にはボートの櫂に食ひつく有樣で、このやうな恐怖と一日ビスケット三個づゝの僅に飢をしのぐ苦しさと鬪ひつゝ漂流九日、運よく伯國汽船に救けられました、私等は日本を出てから廿年以上も英國で海員生活をし、今度の戰爭以來も方々航海したが一番危險なのはやはり英佛海峽附近で、佛國海岸から射ち出す獨の大砲は非常に强力で砲彈が海に落ちると百二、三十呎の水煙りが上り二、三千トンの船は飛上る始末で、獨海軍が護送船團を襲擊するときは先づ飛行機が一台飛んで來て船團の先に照明彈を投下し、それを目標として二、三浬の個所に待機中の潜水艦が魚雷を發射し、商船を撃沈するといふ方法をとつてゐるやうです

◇　◇　◇

在聖リンス學友會結成
後進の良き兄となり相携へ"學びの道"に勵む

……に於てリ……年度各大學豫科……した内山良又（法科）……島勝（醫科）和泉龍夫（……科）梶貫治（工科）の諸君が中心となり次年度大學豫科入學志望の同學園寄宿生十數名のため懇親座談會が催された、司會者は學園長山口七郎先生が當り受驗に關する新入學生の感想や注意、受驗志望者の諮問などがあり、意義ある催しとして一般からも注目された

因に今回の會合を機會にリンス學園又はリンス附近出身の前記在聖學生を中心として在聖リンス學友會が結成され同學園在校生にして將來出聖上級學校入學志望の學生を推會員とし、互に入學受驗その他勉學上の連絡をとることゝなつた　尙將來は聖市にリンス出身學生によつて同學園の延長とも言ふべき寮の建設を理想とし一致協力して後進の爲め良き兄となり、又在聖學生同志の相互扶助機關として計畫された在聖リンス學友會の結成は地方より多數聖市に遊學する他の學生の刺戟ともなり、自戒自肅互に勵まし合つて學びの道にいそしむには當を得た企てであり且又その發展向上が期待されてゐる

御苦勞さん……
官選代表畑中氏無事歸伯
昨夕一先づパストス歸植

昨年九月榮の官選代表として歸國、十一月開催の輝く紀元二千六百年祭典に參加、また海外同胞東京大會"ブラジルの日"には伯國の事情を詳さに講演して拓務關係者に在伯同胞の活躍狀態、眞の伯國の事情を傳へてその認識を深からしめた畑中仙次郎氏は、その後七ケ月の滯在中六ケ月間を拓務省及び海外移住聯合會の委囑を受け中部、近畿、四國、中國、九州の各地方を廣く巡回、伯國の實情宣傳や講演に多忙の日を送り、時には在伯邦人の緣故を訪ねこちらの消息を傳へ又向ふの希望も聞き農村の狀態、戰時下日本の雄々しき活躍振りを親しく觀察し去る九日リオ入港のもんて丸で家族同伴歸伯した、無事大任を果した同氏は昨日歸伯挨拶に本社を來訪したが、昨夕一先づパストスに歸植、約一週間後に出聖、それ〴〵報告その他用務を濟ませる筈である

"決死志願の四青年"
あふりか丸で欣然歸國

去る五日サントス港出帆母國に向つた商船あふりか丸船客中、遙々入營志願のため歸國する熱血の青年が四人もあつた、ソロ線アダードス驛第二モンソン植民地佐々木通夫君（廿六）同驛ドナ・アメリア區中田耕地寺田潔氏義弟木庭宗喜君（廿六）パストス移住地サウデ區の陸上選手で知られた後岡兄弟二人であつたが彼等は交々語る

「伯國は住んで働くには天惠に富み眞に世界の樂土として申分なく感謝に堪えぬが、自分等は日本に生を享け日本精神の涵養を受けて育てられたのが、徵兵適齡前に渡伯し生活は安全だが母國の現狀を見ると徒らに安閑としては居れず、皇國に一命を捧ぐべく出征の覺悟で出立します、万一生き殘つたら餘生を東亞共榮圈確立に捧げ、大陸に渡つて棉作りでもして奉公の誠を盡す決心です」云々

米國務省の發表に依れば、五月中に北米から伯國向け輸出した軍需品總額は六十六万七千七百六ドルに達し、內四十二万五千六百十九ドルは砲兵用器具であつた、又亞國向け輸出總額は四万八千百五十二ドルで、內三万六千六百五十ドルが爆發物、チリー國向けは九万三千百七十ドルで、內六万八千四百十七ドルは航空機であつた

◇

（ロンドン十一日發）英海軍司令部では ドイツ汽船「ヘルメス號」が拿捕され、船長以下乘組員全部捕虜となつたと發表したが、右ヘルメス號は六月廿八日ヘンブルグ港向け、リオを出帆したものである

◇

最近、伯國政府は北米より汽船一隻を購入、右汽船は九千五百噸にて、ロイド・ブラジレイロ社に屬するものである

◇

昨年十一月一日現在の東京市人口は世界第二位となつてゐる

紐育	七三八万	（四〇年）
東京	六七八万	（四〇年）
伯林	四二九万	（三八年）
倫敦	四〇九万	（三七年）

右の內紐育の人口は汎米人口統計表では七六四万九千となつてゐる

◇

聖州カルロス・ゴーメス氏の誕生日は一昨日（十一日）であつたが、彼の出生地カンピーナス市では種々の催しをなした、エッカドーラ放送局でも特別プログラムを以て紀念放送を行つた

◇

パストス市街地邦人某の幼兒（三歳）は、過つて沸騰する牛乳鍋を引くり返へし腹部から股にかけ大火傷をして入院加療したが、傷口から入つた毒素が內臟を冒し二十日後哀れにも死亡した

◇

邦人某は過日ノロ線から新型カミニヨンにムダンサ荷物を積んで奥ソロに行つた歸りの途力を出しすぎ、操縦を過つてリオ・ド・ペイシの支流に轉落した

ミナス州鑛物類
四年間の輸出高
十六万七千余コントス

伯國における鑛物類の主要生產地であるミナス州の過去四ケ年間に於ける鑛物生產高は合計總重量は十六億五千三十五万七千二百六十八瓩で、右金額は十六万七千五十七コント五百四十九針六百レースとなつてゐる、右を表で示せば

	（單位キロ）	（單位針）
三六年	二七六・一九三・四二四	三二・二五一・〇〇〇
三七	四四五・五一七・〇八九	三五・五四七・八九五
三八	六六二・八六九・〇三八	五二・七五七・六一七
三九	五六五・七七七・七一七	四六・五〇一・〇三七

猶三八年度の主な輸出品內譯は左の如し

	（單位千キロ）	（單位針）
鐵鑛	四一〇・九二四	二五・八八八・二三一
マンガン鑛	一四四・二四七	一七・三〇六・六三一
オークサイト	九・〇一六	二・七〇四・八七二

集ふ！土の戰士
中堅青年養成講習會
マリリヤ產青聯主催

先ほど結成されたパウリスタ延長線マリリヤ產組青年聯盟主催同地方中堅青年養成講習會は、公榮植民地小學校に於て開催されることゝなり、一昨日（十一日）受講者七十名其他各關係者列席のもとに嚴肅且盛大に開講式が擧行された、これら農村の健兒らは邦人社會の明日の運命を双肩に擔ふの重責を感じ、精神鍛鍊、團體訓練、土の再認識等々この講習を通じて邦人社會をより發展させ、併せて伯國農業界に貢獻する精神を養成、依つて以て今將に行き詰まらんとしつゝある邦人農家の前途に光明を與へ、文字通り產青挺身隊として活躍せんとするの準備であると大きな期待が掛られてゐる、同會期は十日間であるが、講習會最終日にはマリリヤ地方青年團代表協議會を催す筈である、或はこれによつて同地方を一丸とする產青聯の結成に至るのではないかとも見られてゐる

英映畫を南米へ
既上映"護送船"は
米の手・英海軍の宣傳

英國が爲替管理を强化したゝめ米國への送金が不可能となつた米國映畫の各支社は、その退藏金を英國の映畫製作に投資、或は原作の買收等を行つてゐるが、今度RKOや、エドワード・スモール・プロ支社は英國映畫を購入し、これを南米大陸に配給しつゝあるがRKOはクライブ・ブルツク主演「護送船」（コンボイ）は既に聖市に於てはバンデランテス館、サンペント館等で上映、スモールプロはクロード・ハーバート主演「三人の[illegible]の水兵」を契約したが、これらは何れも英國海軍の宣傳色濃厚な映畫であるだけに、この種作品の買收配給に乘出した米國映畫會社の態度は注目すべきものである

"實業リーグ最後の一戰"

聖市實業野球リーグ最後の二試合は、けふ正午から時報對聖報、午後二時半から小西對東棉であつたが、聖報軍は人員不足のため棄權の止むなきに立至り時報の不戰一勝となり、定刻通り午後二時半より小西對東棉の一戰のみとなつた

"白菊會講習會"

聖市女子青年「白菊會」ではけふ午後二時より母の會館に於て造花とペン習字の講習會を催す、材料は會で用意してありますと

會田氏の講演
十七日 ポルトガル倶樂部で

去る一日行はれる筈であつた領事館會田書記生の「日本に於るウエンセスラウ・デ・モラエス氏」と題する講演は都合に依り一時延期されたが、改めて來る十七日（木曜日）午後八時半から聖市アベニーダ・サンジョアン一二六番のポルトガル倶樂部で行はれる事になつた

亞國ブ市ゴルフ競技
黒瀬氏萬丈の氣
百七十碼を一打でホールイン

一亞國紙の報ずるところによればブエノス・アイレス市イツサインゴ・ゴルフ倶樂部で去る六日行はれたゴルフ競技會に於て、同市貿易斡旋所新所長黒瀬保氏が第十一番目百七十ヤードをたゞの一打でホールインして驚嘆させ邦人のため萬丈の氣を吐いてゐる

"長期献金の熱誠"
事變四周年迎へ愈よ固し

汎リンス青年會では日支事變勃發するや直ちに献金報國運動に着手、その熱誠は聖戰目的達成迄長期献金を申合せ月掛け献納を實行、その結晶は已に數回に亘り盛られ、言行一致の信念は益々固く遂行されつゝあるが、過ぐる七日事變四周年紀念日を期し、リンス本部二百針、共和支部百針パルミッタール支部百廿三針合計四百二十三ミルの月掛け獻金が新理事長杉浦喜內君の手でバウルー領事館に送られた

◇……◇

ノロ線カフエランジヤ植民地パクリー植民地青年會では微力ながらも赤誠の一端を示さんと機會ある毎に共同作業を行ひ獻金を醵けて來たが、今回も

時は運動季節
ポンペイアの老童俄然若返る

ポンペイア市の老童軍とポンペイア植民地老童軍との珍野球が去る六日同市球場で行はれた、何れも家內總出の應援に俄然若がへり迷？プレイ續出、兩軍盜壘數四十三、死球七、二壘打九本といふ君いもの顏負けの記錄を殘し二十五對十四のスコーアでポ市老童軍が凱歌を擧げた、兩軍メムバー左の如し

市藤崎田川上田木　原野手田
ポ近宮花江井花赤　小西井岡
（投）（捕）（一）（二）（三）（遊）（左）（中）（右）
植股　田口藤田兒　庭藤島
ポ狩　和江加和　林矢江福

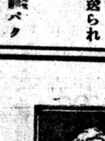
重要商品市況
七月十一日　買値　賣値

◆バタタ
アマレーラエスペシアール　六〇キロ　六五　六六
スペリオール　六三　六五
◆小麥粉一級　五五、〇　五六、五
ファリンエヤ
マンヂオカ　五〇キロ　三七　三八
砂糖　六〇キロ入
極上　七一、　七二
上等六八、　六九
アルファファ　一キロ　三三　三五
◆フエジョン　六〇キロ
△新ムラチンユー
スペリオール　四三　四四
エスペシャル　三五　三六
ボン　三一　三三
レグラール　ノミナル
△コーレス　六〇キロ
シユンビンユー　三七　三八
△ミリヨ　六〇キロ
アマレリニヨ　一九、一　一九、二
アマレロ　一八、〇　一八、一
アマレロン　一七、六　一七、八
△アローズアグリア
アマレロン
エスペシアール　九六　九九
スペリオール　九〇　九三
ボン　ノミナル
レグラール　ノミナル
△ブランコ
エスペシアール　九〇　九三
スペリオール　八九　九〇
ボン　八四　八五
レグラール　七七　七八
ムキレーラ　三四　三六
△メイオ　三三、　三四、
△カテテ
エスペシアール　八五　八六
スペリオール　八二　八四
ボン　ノミナル
豚脂（オザスコ相場）
ゴールド　ノミナル
マーグロ　ノミナル
マモナ　一キロ　六七　六八
セボーラ・リオ・グランデ　ノミナル
バンユヤ　二〇キロ　三三　三五

蔬菜相場
七月十二日（コチア產組調）

トマテエスペシアル　三六　四五
プリメーロ　三〇　三七
セグンド　二〇　二九
レボーリオ　へ　一四
ピメントン　一〇　一二
パージ　三〇　四五
エルビーリア　一五　二〇
ポプリンユー　二五　三〇
ペピーノ　四〇　六〇
人參　一、二〇〇
コーペフロール　八、〇〇〇
バタタ　一三
ナス　一六　三三
玉子　三、〇　三、五

棉の相場



サンパウロ棉花取引所建値　七月十一日
單位十五キロ

	買値	賣値
四級	五五、〇〇〇	五七、〇〇〇
五級	五〇、〇〇〇	五二、〇〇〇
六級	四七、〇〇〇	四九、〇〇〇

グワルダ・リーブロ　一名入用
希望者は來談されたし
伯刺西爾時報　遠藤

迅速　確實　廉價
營業種目
▲商店、工場、組合、會社等の設立登記手續
▲所得税、諸税金、異議申立、諸罰金に關する手續
▲其の他勞働局、衞生局及各官廳に對する諸手續事務一切
北橋會計事務所
聖市シルヴエーラ・マルチンス街二七六番
電話　二―九三八九
執務時間　午前八時ヨリ十一時半迄（日伯產業會社內）

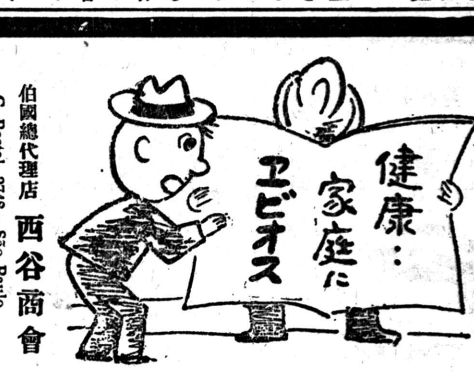
靜岡縣人各位寄附芳名中
サントアンドレ（聖市郊外）藤浪眞殿の分は
壹百針也
貳百針也の誤りに付き訂正
聖市縣人代表　平井格次

電話 3-6382
お泊りお食事は安くてきれいな
アジア旅館へ
歸國手續き迅速に取扱ひます
聖市グローリア街二九八（テアトロ・サンパウロ前）

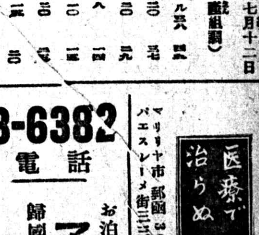
醫療で治らぬ　難病專門
鍼灸マッサジスト　磯谷本院
マリリヤ市郵函三六八　パエスレーメ街三三一
病源掃滅根本治療

正確　迅速
相馬法律事務所
法律相談、翻譯、通譯、金融投資相談、歸化手續、種籍手帖
其の他諸官廳役所への手續一切
土地周旋（郊外・奥地）
聖市フエリッペ・デ・オリベーラ街二一番　七階五號室
郵函　四四一八　電話　二―七六〇九

騷々しい世の中となりましたがセメテ
家庭內丈けは朗らかに平和で……
—其の爲めには第一皆が健康で有る事です—
—健康で有れば總てが明朗で面白く行ます—
御老人方の……老衰防止に……便秘に……榮養充實に……
お父さんの……胃腸病に……過勞時の元氣恢復に……食慾增進に……お酒召し上り過ぎ後に……
お母さんの……姙娠中のツワリ防止に……胎兒の發育良好を期す爲に……お乳がよく出るため……便秘治療に……
お子供衆の……發育促進に……消化不良や下痢を治す爲め……食が進む樣……ムヅカリが止む樣……甘いもの食べ過ぎの時……



ヱビオスの持つビタミンB1・2・6の偉力は今日米食日本人の家庭に無くてはならぬものとなりました
ヱビオスは各地有名薬局、商店に販賣す
伯國總代理店　西谷商會
C. Postal, 2748 - São Paulo
C. Postal, 1134 - Rio de Janeiro



CASIMIRAS ADRIATICA
Rua José Bonifacio, N.º 79
カジミーラ
アドリアチカ
優秀外國品に少しも變らぬ唯一無二の國產品です。
常にアドリアチカ印を御選擇下さい。其品質、柄にキット滿足されます。
各種夏向地英國製カジミーラ、英國並びにアイルランド製ブリン・デ・プーロ リンニヨ等も豐富に取揃へて居ります。

聯邦農務省御用・聖州農務省御用
果樹苗
セントラル線モヂ驛郵函三四
本多果樹園

歸國御挨拶

謹啓　各位益々御清榮之段奉賀候　陳者私共儀來る七月廿七日サントス港出帆のモンテヴイデオ丸に便乘歸國致す事と相成候　就ては在植中は公私共に御交誼を賜り　尙又出發の折は多大なる御餞別　並に御見送り下され御芳志の程厚く御禮申上候　實は一々拜趨御禮申上可管の處　乍略儀以紙上を御別れの辭と致し皆樣の健康を祈上候

七月十二日

ヴエルナルデス朝日植民地
行德秀夫
家族一同

在住各位

Redação — Rua Fagundes, 196
Telefone 7-4670
Caixa Postal, H

NOTICIAS DO BRASIL

Diretór MASAHI[illegible] SAMESIMA

Assinatura Anual .... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero do dia .... 300 reis

ANO XXIV — S. PAULO DOMINGO 13 de JULHO de 1941 — DIARIO No. 2527

JURAMENTO A BANDEIRA
dos conscritos da Artilharia de Costa

O Chefe da Nação e a exma. sra. Darcy Vargas estiveram presentes á cerimonia — ontem realizada no Rio —

RIO, 11 (Pelo telefone) Os conscritos do Distrito de Artilharia de Costa juraram, esta manhã, Bandeira, numa cerimonia que teve a mais altae eloquente significação.

Filhos de varios Estados, mais de mil jovens, depois de intensa instrução durante a qual se ambientaram na caserna, aprimoraram o seu amor a patria e às instituições, apreendendo a defede-las.

O Chefe do governo, quee se fazia acompanhar de sua exma, esposa, D Darci Vargas, e de todo o seu gabinete militar, presidiu a cserimonia, prestiginado, dessa forma, a patriotica festa da Artilharia de Costa.

CHEGA O CHEFE DO GOVERNO

O Presidente Getulio Vargas, com sua exma. esposa, d Darci Vargas, Ministro Eurico Dutra, general Francisco José Pinto e demais membros do seu gabinete militar, chegou às 10 horas, ao Forte Duque de Caxias, onde, logo depois, teve inicio o juramento a bandeiras dos conscritos.

O Chefe do governo foi recebido, ali pelo general Rego Barros e pelo capitão Emilio Sarmento, comandante daquela praça de guerra, seendo-lhe, apreqsentadas continenciass regulamentares qao som do hino nacional. Inicia-se, qentão, a solenidade, com o toque de sentido. No campo, os mil e tantoss conscritos, dirigem-se para a frente do palanque, acompanhados de seus partabandeiras O general Rego Barros toma lugar diante da tropa, acompanhado de seu Estado Maior.

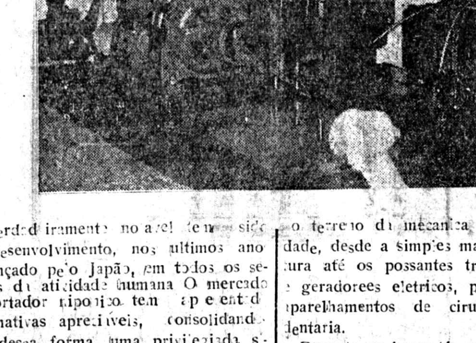
JURAMENTO A' BANDEIRA

Os soldados da patria prestam, a seguir, o juramento da lei e o coronal Honorato Pradel procede, ato continuo a leitura da ordem do dia do comandante do Distrito de Artilharia de Cosa.

Os conscritoss cantam o hino nacional, no que são acompanhados por toda a assistencia, com vibração entusiastica. E, por ultimo, cantam a Canção da Artilharia da Costa.

O extraordinario desenvolvimento das industrias do Japão

A Exposição Flutuante de Maquinas Modernas a bordo do "Montevidéu-Marú" no porto de Santos



Verdadeiramente notavel tem sido o desenvolvimento, nos ultimos anos alcançado pelo Japão, em todos os setores da atividade humana O mercado exportador nipo[illegible] tem apresentado estimativas apreciaveis, consolidando-se, dessa forma, uma privilegiada situação csonquistada pela excelencia dos produtos que sáem do Imperio do Sol Nascente.

O Brasil, pais riquissimo em materia prima de hoje um dos melhores mercados importadores de maquinas pesadas e de industria, tem acompanhado. com o maior interesse, o desenvolimento do Japão, ainda mais por estarmos ligados a terra de Hiroito por acentrados laços afetivos e culturais, cada vez mais fortes graças ao constante movimento de embaixadas nipobrasileiras que reciprocamente se visitam. Ha, ainda, a concorrer para que mais intimos se tornem os nossos contactos com a longinqua e gloriosa nação, o fato de que inumeros japoneses e brasileiros filhos de niponicos colaboram conosco para a maior grandeza do Brasil.

A EXPOSIÇÃO FLUTUANTE A BORDO DO «MONTEVIDEU-MARU'»

Bastante justificada, portanto, a expectativa com que os meios comerciais e industriais paulistas aguardavam a chegada, ao porto de Santos, do «Montevedéu Maru'», confortavel barco da frota da Osaka Syosen Kaysa, a cujo bordo se encontra instalada a Exposição de Maquinas Modernas Japonesas, patrocinada pela Asssociação Industrial do Japão e pela Federação das associações dos Fabricantes de Maquinas do Japão.

Visam, essas prestigiosas entidades do Imperio do Sol Nascente, com o certame que ontem nos foi dado apreciar, tornar conhecida, em todo o continente americano, a caplacidade tecnica ei ndustrial, niponica, incluindo, nos seus bem montados mostruarios, tudo o que de melhor é ali fabricado no terreno da mecanica e da eletricidade, desde a simples maquina de costura até os possantes transformadores e geradorees eletricos, passand opelos aparelhamentos de cirurgia otica e dentaria.

Durante as horas de visitação publica foi o «Montevidéu Maru'» pequeno para conter a consideravel afluencia de pessoas desejosas de verificar, de visu», o prometido pelas duas acreditadas associações do país das cerejeiras.

Pleiteada a criação de uma fazenda experimental agro-pecuaria em Franca

O sr. dr. Fernando Costa recebeu ontem, em audiencia, o sr. capitão Moura Matos, presidente da Sociedade Comercial, Industrial e Rural de Franca. S s. foi expôr ao sr. Interventor Federal a necessidade da criação, em Franca, de uma fazenda experimental angro-pecuaria que se dedique aos problemas da produção de cafés finoos e da criação de gado indiano.

o sr. dr. Fernando Costa, que demonstrou a melhor bôa vontade em resolver essa aspiração dos lavradores daquela região produtora de cafés finos e de gado indiano, prometeu tratar do assunto em seu deespacho com o sr. Secretario da Agricultura.

Folhas de pagamento de operarios

Portaria mandada baixar pelo sr. Interventor Federal:

Após o seu despacho de ontem com o sr. Secretario da Agricultura, o sr. dr. Fernando Costa, Intervetor Federal, mandou baixar uma portaria a ser observada em todas as repartições publicas do Estado, proibindo a inclusão, em folhas de pagamento de operarios, de quaisquer funcionarios que que exerçam funções de escitório. Em virtude dessa portaria, os diretores de repartição serão responsabilizados por quaisquer pagamentos feitos a não operarios por intermedio de folhas de pagamento de pessoal operario.

O sr. dr. Fernando Costa determinou, ainda, que os diretores de repartições enviem aos srs. Secretarios de Estado uma lista dos funcionarios que vinham percebendo vencimentos nessas condições.

O sr. Interventor Federal tomou essa providencia por ter conhecimento de que o serviço de diversas repartições vem sendo prejudicado grandemente pelo desvio, para pagamento de outros serviços, das verbas destinadas a operarios.

FEIRA NACIONAL DE INDUSTRIAS

APOIO DA CONFEDERAÇÃO NACIONAL DA INDUSTRIA AO CERTAME DE AGOSTO PROXIMO

Aumenta, dia a dia, o interesse pela grande exposição industrial que, sob o patrocinio da Federação das Industrias do Estado de São Paulo e do Ministerio do Trabalho, Industria e Comercio, deverá reunir-se pela segunda vez, em agosto, nesta Capital.

Em oficio dirigido ao dr. Roberto Simonsen, o dr. Euvaldo Lodi, presidente da Confederação Nacional da Industria, acaba de acentuar a importancia de que deverá revestir-se esse certame, dizendo:

«Desnecessario será encarecer, sr. presidente, o relevante papel que, na expansão do mercado interno, está reservado à Feira deste ano, como consequencia da situação criada pela guerra. E' com o maior prazer que adotamos as sugestões apresentadas por v. excia., no sentido de congregarmos esforços para que sejam enviadas delegações economicas aos principais centros consumidores do país, fazendo tambem com que as associações comerciais e industriais dos Estados enviem a São Paulo por ocasião do certame, as mais expressivas figuras do comercio e da industria do Brasil.

Da nossa parte, hipotecando o nosso apoio integral, nos prontificamos, desde já, a tudo fazer para que a Feira Nacional de Industrias de 1941 ultrapasse, de muito, o magnifico resultado obtido com a Feira do ano proximo passado, para que posssa o publico, não só travar conhecimento direto com os produtos expostoss, como, tambem, verificar o notavel progresso já atingido pela industria brasileira».

A SECRETARIA DA AGRICULTURA PRETENDE ORGANIZAR DEZ PARQUES ESTADUAIS EM S. PAULO

O sr. Secretario da Agricultura acaba de nomear uma comissão composta dos srs.: dr. Manuel de Siqueira Campos, procurador geral da Procuradoria do Patrimonio Imobiliario e Cadastro do Estado; dr. José Camargo Cabral, diretor do Serviço Florestal; dr. Frederico Hoehne, diretor do Departamento de Botanica; dr. Agenor Couto Magalhães, chefe da Secção de Caça e Pesca, da Industria Animal, e dr. Oliverio Mario de Oliveira Pinto, diretor do Departamento de Zoologia, para estudar a localização e organização de dez parques de reserva da flora e da fauna em diferentes pontos do Estado.

A feliz iniciativa do titular da pasta da Agricultura, que é um conhecedor profundo de todas as necessidades paulistas no amplo setor superintendido pela sua Secretaria, uma vez posta em execução, apresentará valiosos resultados na salvaguarda de nosso patrimonio florestal e na defesa de nossa fauna. De fato, imensas especies animais e vegetais, já se tornam raras em São Paulo, quando não desapareceram de todo. Por isso, torna-se necessaria a intervenção governamental no proposito de amparar a flora e a fauna bandeirantes, pois as atividades dos particulares, visando como é natural, um lucro rapido e imediato, não cogita de conservar ou preservar o patrimonio natural do territorio paulista.

Oportuna e proveitosa será, portanto, qualquer atividade do governo nesse sentido.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAFICA «DOMEI» JAPONESA

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipônica
"ANUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Fo'ne 7 4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

A importação do oleo de oiticica em São Paulo

RIO (Via Vasp) — A imprensa recebeu do diretor da Estatística do Estado do Piauí, uma comunicação acerca da produção e comercio da oiticica daquele Estado nordestino, cuja publicação damos a seguir:

Em quasi todo o Piauí é encontrada nas margens de rios, riachos, regatos, etc., de preferencia nos lugares pedregosos, a gigantesca arvore silvestre dos sertões do nordeste brasileiro — a oiticica, muito semelhante à do oití, dandof rutos de sementes extraordinariamente oleaginosa.

Quanto as folhas, por serem um pouco crescidas e ásperas, difere do oitizeiro.

Oiticica (Licania rigida). Poucas são as especies medicinais desta familia, e na industria são empregadas principalmente algumas frutiferas no fabrico de licores, como as cerejas para o Krisch e as amendoas para o Maraschino. A madeira de Prunus mahaleb é aromatica, pelo que se empregam os seus galhos para canudos de cachimbos. A nossa é propria para a extração de um oleo sucedaneo d a linhaça para pinturas vernizes, etc.

Valença (em sua parte norte) e Pedro II são os municipios piauienses considerados mais ricos da portentosa arvore da oiticica, desta arvore que já tem a preciosidade, de seus frutos explorada neste Estado, notadamente através da Fabrica Piauiense de Oiticica localizada nesta capital, à rua Santa Liza, 1, à margem do majestoso rio Parnaiba e bem proximo às Usinas de agua, força e luz.

Um dos embaraços ao desenvolvimento da industria d a semente da oiticica, neste Estado, era a falta de facilidade de transporte e frete mais barato. porém isso, graças à atividade e à dedicação dos industriais e comerciantes Morais & Cia., de Parnaiba, e desta capital, está sendo solucionado, com absoluto apoio do sr. dr. Leonidas de Castro Melo, dignissimo Interventor Federal neste Estado, como a ligação do municipio de Valença ao de Regeneração, por meio de uma regular estrada de rodagem, visando a baixa dos generos de exportação por intermedio do rio Parnaiba.

Essa estrada, partindo de Papagaio para Regeneração, mede 60 quilometros. Naturalmente as sementes de oiticica daquela zona, onde abunda este produto, se utilizarão das vantagens que advirão da nova estrada em procura de melhores mercados para sua colocação, bem como: Terezina, que já dispõed a aludida Fabrica Piauiense de Oiticica.

Serviço de estatistica da Previdencia do Trabalho

Alterada a Redação do Artigo 170 do Decreto-Lei 2.627

Rio, (Pelo telefone) — O sr. Presidente da Republica assinou decreto-lei alterando a redação do art. 170 do decreto-lei 2.627, o qual passa a vigor com o seguinte redação:

«Serão punidos com a multa de 50 a 500$000 os diretores de sociedades nacionais e os representantes de sociedades estrangeiras, que deixaram de observar o disposto no paragrafo unico do art. 176.

Paragrafo unico — A multa será aplicado pelo diretor do Seerviço de Estatistica da Previdencia e Trabalho, com recruso para o Ministro do Trabalho, Industria e Comercio, dentro do prozo de 30 dias, contado da publicação do respectivo despacho no «Diario Oficial» e mediante prova do deposito da importancia correspondentee nos cofres do Tesouro Nacional».

N. R. — — O artigo agora alterado estabelecia multa de 2:000$ a 5:000$ ou prisão de 10 a 30 dias, para os diretores das sociedades por ações que dentro do prazo marcado não remetessem ao serviço de Estatistica da Previdencia do Trabalho, publicações do «Diario Oficial» referentes à convocação de assembléiass geerais, relatorios de diretorio, balanço, e demonstrações de lucros e perdas.

Reorganização do Instituto do Café e das Caixas Economicas

Durante o seu despacho de ontem com o sr. dr. Fernando Costa, Interventor Federal, o sr. Coriolano de Gons, Secretario da Fazenda, apreesentou á consideração de s. exc. os estudos que vem realizando sobre a reorganização do Instituto do Café e das Caixas Economicas do Estado. Essses assuntos vão ser imediatamente examinados pelo sr. dr. Fernando Costa e oportunamente submetidos à deliberação do Departamento Administrativo do Estado.

Necessidade de redução do consumo de derivado do petroleo

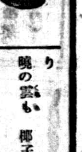
Comunicado distribuido a' imprensa pelo D. I. P.

RIO, 11 (Pelo telefone) — O DIP distribuiu aos jornais o seguinte comunicado:

«Companhias importadoras de derivados do petroleo acabam de comunicar ao Conselho Nacional do Petroleo terem recebido de Nova Yorkaviso de que as previsões de disponibilidade de navios-tanques para os proximos mezes não serão suficientes para transportar a quantidade de produtos peetroliferos necessaria ao consumo do Brasil.

Segundo seu calculos, a disponibilidade, durante o mês de julho, só poderão atingir 78 % da capacidade normal de transporte.

Em consequencia, torna-se imperiosa a necessidade de redução de cerca de 30 % do consumo dos mencionados produtos, enquanto perduar a situação atual. O Consel hoNacional do PPetroleo, emc ombinação com outros orgãos da administração publica, tem tomado diversas providencias para atenuar a crise de combustiveis que acarretaria a aludida deficiencia de meios de transporte e conta com a cooperaç ode todos os consumidores no sentid ode efetuarem uma redução de 30% nos gastos habituais».



朱欒　念腹選

長停車朱欒蜜柑を買ひにけり　増田恒河
葉の艶の葉よりも青き朱欒かな
疵々のうちむらさきでありにけり　中野陽水
そのかみの上海懐し朱欒剝く
朱欒舩城門近く繋り居り　白石秋峯
志南にありて朱欒むく
煙噴くパン竈の背や朱欒熟る
風強し朱欒木を打ち跳ねかへり　宮地一甫
一本の朱欒を圍ひ豚飼へる
朱欒剝ぐ腰のファカのさや挑ひ　石川芳園
昂ぶれる七面鳥や朱欒落つ
弟に渡す本家や朱欒熟る　佐藤桃生
アマゾナの船を待ちつゝ朱欒剝く　林銀河
垣の外にたれし朱欒の盗られけり　大友音羽
塀外に垂れて朱欒の目鼻かな　高橋巣亭
仰ぎ見る朱欒をつゝむ空眞青　久保伯樹
裏口に賣る朱[illegible]の宿　石井黒雀
ジャカ大樹ザボン老樹と仰ぎ見る　伊勢鹿茸
寂しさをかこちつ朱欒剝きにけり　今出冨代
蜂の巣のありてザボンの大きさよ　安達牛歩
文旦や店の日向の眠り猫

秋季雑

火をかけし如高原の秋夕焼　荒堀初穂
なびき合ふ野邊の雲より秋日出づ
繋がれて驛馬人を戀ふ月の軒
棉摘の驀行く籠を移しけり
土を噛む轍の音や月の馬車　林銀河
俳諧の師も百姓や露の秋
霧晴を踏み待ち居る棉摘女
すぐさめる牧の朝焼馬肥ゆる　佐藤桃生
星飛んでニグロの裏火をこぼす
古櫛に巻きつけ捨てる木の葉髪
秋風や牛の涎の光りとび　増田恒河
月今し瓢とともに棚にあり
新藁の山にかくれぬ納屋豚舎
秋の蝶活潑なるはたまご色　山崎青史
啄木鳥のつゝけばゆるゝ立木かな
寫眞撮るバナナ葉蔭や秋暑し　熊谷文男
入れて月のダンスの髪りけ

曉の雲も椰子葉も濃紫　安達牛歩
暮るゝまで朝顔咲けりそぞろ寒
秋霖や柵木にからむ腐れ蔓　宮地一甫
つきまとふ牛に石うつ秋の風
草花やもつれ落ちたる蝶二つ　石川芳園
南十字ところ替えをり星月夜
客鐘に鵬鵡ためて妻の秋　目黒はるえ
棉秋や日雇バスのつづき來る
芭蕉葉や雨かとばかり霧しづく　名澤康子
一瞬の樹海こだまや馬車の月　川口笑花
子の便り就職とあり蘭手入　増田香浦

悲しき運命　聖市　仲齋

一國の法律は靡す術なけむ眼かひに闇の迫る心地す
墳墓の地永住の地と定めてしこの國も今は住み難くなりぬ
この國も最早や永住の地ならずと思ふ心のきざすは寂し

近詠　サンロッケ　横地季子

一片の雲南空を上ぎる時狭庭に立ちてしばしを和む
きはひ語る吾子の言葉の聞きとれず靄をたてゝ馬車過ぎゆけば
風荒るゝ冬に入りたり店先の果物の類も少くなりつ

雑詠　オンダベルデ　尾山恵昭

み冬立つ朝晴れにして裏山に木を切る音の冴え冴え響く
一頭車牛のみ數多つながれて交みに嘶けば悲しきろかも
かぎろへる枯草原に牛あまた草舐めて眠り居るを撮りにつゝ

―◇―

▲パラクワスー　原惠律子
霜降りて幾日か經し庭先の蜜柑美しく色づきてきぬ
紅大根きざめば淡く指先に紅の染まるがいとほしまれつ

▲パストス　もと子
小雨止みて薄陽洩れくるさ庭べに杉の葉焚くも日暮間近く
逝きし人ゆかたみにたびし讃美歌集にたまたま見出でつ讃えの日附け

▲トレスパラス　晶山充
小夜更けてふと目醒むれば遠方ゆ雨降る音の近づくきこゆ

▲アララクワラ　米澤幹夫
うから皆貧しくあらむ媼どちもだして拾ふ乏き落穂
（ミレーの畫に）

▲グワラペス　元田惠三
一度は知らぬと聞けどもの足らず語のあひ間にまた尋ねみる

▲グワラペス　上岡光子

いんげんの隣へのびてなりはじむ　増田昌子
裁ち終えて鉄置きたる夜寒かな　増田飯山
羽根のある木の實舞ひ落つ日和かな　石井黒雀
鳴り連れて鐘の音競ふ秋の暮　中野陽水
露明けて馬の繋ぎ場煖えにけり　佐藤楽花
秋蟬の啼かはる音も長からず　念腹

息白し　一人十句まで
冬季雑詠
以上締切七月廿五日

蝸牛の殼を幾つか見出しぬ干し上られし珈琲の中に

▲聖市　西　山下春芳
夜更けては通りたき街を音高く往き交ふバスの客も少し

▲聖市　登世
夕されば潮の遠音の近づきぬやはらかき風磯に匂ひて

▲マルチノポリス　緒方新朗
吾が歩む小道のたそに黄金なす稲穂かたぶき實たけて

―◇―

▲仲齋氏―流石に手馴れたもので、一聯九分首肯された。しかし々二首は或個人的理由から遠慮した。惡しからず。
▲横地女史―久し振の發表であるが刮目に値する程の進境は見へなかつた。「路々と」の一首は―あかり―の「上」が失敗の因である。
（妄言多謝　武本生）

―◇―

▲今回は紙面が無いので以下は次回に掲す事にした。
▲七月五日トレス・パラス在住歌人古澤典穗氏は夫人の病氣治療の爲出聖し、一日社を訪問短歌に關する意見の交換を行つた。
▲短歌雑誌「椰子樹」第十號が發行された。現在在伯歌人百五十數名を擁する同誌は絶好の作歌入門誌である。加盟希望者は、左記宛申込まれ度い。
宛名　椰子樹編輯部
C. P. 3700 São Paulo
▲聖市短歌會では、來る七月二十七日（日曜日）に聖西パルゼングランデ在住歌人山下春芳氏宅附近に吟行する事になつた。多數同好者の參加を希望する。
集合場所―ピネイロス廣場電車終點
集合時間―二十七日午前七時三十分まで
辨當・オニブス賃―各自持參のこと　以上